

【主催】 一般財団法人3.11伝承ロード推進機構

【共催】 青森県・八戸市

【後援】 国土交通省東北地方整備局・(一社)青森県建設業協会・(一社)日本建設業連合会東北支部・ (一社)建設コンサルタンツ協会東北支部・(一社)東北地域づくり協会

13:35

13:30 開会あいさつ 青森県知事 宮下 宗一郎 氏

> 《基調講演》 片岡 俊一 氏 テーマ「災害を100年後に伝える」

パネルディスカッション 14:30

> テーマ 「震災伝承と観光」について

> > ~震災伝承施設に求められる役割と震災伝承の活性化について~

コーディネーター 東京大学公共政策大学院 特任准教授 パネリスト

八戸市長 八戸市みなと体験学習館館長 (株)ACプロモート代表取締役

(一財)3.11伝承ロード推進機構業務執行理事

アドバイザ-弘前大学 教授

三重野 真 代 氏 谷 雄 氏 澤 廣 氏 時 前 田 直 子 氏 田 原 信 氏 吉 岡 俊 氏

15:30 閉会

演/アドバイザ

弘前大学 教授

かたおか しゅんいち 片岡 俊一

埼玉大学工学部卒。東京工業大学大学院 修了。専門は地震工学。地震動予測・地 盤構造が地震動に与える影響が研究対象。 このほか、構造物の健全性評価(構造へ ルスモニタリング) や地震災害軽減対策 も研究対象。



◆コーディネーター◆



東京大学公共政策大学院 交通・観光政策研究ユニット 特任准教授 三重野 真代 (みえの まよ) 氏 京都大学経済学部卒。2003年国土交通省入省。

京都市産業観光局環境MICE推進室MICE戦略 推進担当部長、総合政策局環境政策課長補佐、 復興庁企画官を経て、2021年より現職。

災害を100年後に伝える

パネルディスカッション

「震災伝承と観光」について

~震災伝承施設に求められる役割と

震災伝承の活性化について~

♦パネリスト◆

八戸市長

熊谷 雄一(くまがい ゆういち)氏

八戸市出身。日本大学法学部卒

平成13年10月~平成15年4月 八戸市議会議員。 平成15年4月~令和3年10月 青森県議会議員。 平成23年5月~平成27年4月 青森県議会 東 日本大震災対策特別委員会委員長。

平成27年5月~平成29年3月 青森県議会 議 会運営委員会委員長。

平成29年3月~平成31年4月 青森県議会議長。 令和3年11月17日 八戸市長に就任。



八戸市みなと体験学習館 館長

前澤 時廣(まえさわ ときひろ)氏

八戸市出身。元八戸市議会議員。

議員在任中東日本大震災が発生。被災者の支 援、被害の復旧復興へ尽力。創造的復興に向けた種々提案、提言を実施。令和元年7月より 「八戸市みなと体験学習館」館長。チリ地震 津波の被災を原点に忘れ去られている「津波 てんでに」を復活させ、災害時の心構えや被 害の実情と教訓を伝承させている。



ACプロモート 代表取締役 町田 直子(まちだ なおこ) 氏

大阪出身。米国で国際マーケティングと広告 を学ぶ。大手旅行社入社、結婚後八戸に。 NPO法人と株式会社の組織で、地域ブラン ディング戦略による地域プロデュースを展開。震災後の復興で自然環境の保全と活用を進め、 観光という手段で地域の活性化を目指す。



3.11伝承ロード推進機構 業務執行理事

原田 吉信(はらだ よしのぶ)

元国土交通省職員。技術系職員として国道や高 速道路の調査設計施工に長く携わる一方、防災 関係の業務にも携わる。東日本大震災では、被 災自治体の民生支援を担当。震災伝承施設の登 録制度の導入にも携わる。令和元年8月より財団 勤務。令和4年7月より現職。



【申し込み・お問い合わせ先】



一般財団法人3.11伝承ロード推進機構 〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-26 コンヤスビル3F TEL:022-393-4261 TAX: 022-393-4271

申し込み:ホームページ申し込みフォームより https://www.311densho.or.jp



3.11伝承ロード推進機構 ホームページ